始動！建設産業の魅力向上プロジェクト

広島工大JCDセンター＆本紙タイアップ企画

女子学生が建築現場を訪問

技術者に聞きます！

協力＝「長崎病院移転新築工事」作業所（フジタ・栗本JV）

広島工業大学が女子学生のキャリア形成や就職を支援しようと、07年に発足させた「女子学生キャリアデザインセンター」（通称・JCDセンター、センター長・杉田洋環境学部環境デザイン学科教授）。現在、約40人の学生幹事や教職員によって運営され、学生が自ら企画するイベントの実施などさまざまな活動を展開している。日刊建設工業新聞社は建設業の魅力を広く伝えるため、同センターとタイアップし、学生による現場見学会を企画。建設関連学科に在籍する女子学生3人が広島市内の建築現場を訪れ、建築技術者にいろいろな質問を投げ掛けた。彼女たちの目にものづくりの現場はどう映ったのか―。

見学会に参加してくれたのは、高畠沙季さん（工学部建築工学科2年）、事崎悠佳さん（環境学部環境デザイン学科2年）、佐藤志帆さん（工学部都市デザイン工学科1年）の3人。7月中旬、JR横川駅南口から徒歩5分の距離にある「長崎病院移転新築工事」（広島市西区横川新町3の6ほか、発注＝医療法人厚生堂長崎病院）の現場を訪れた。建物はRC造地上7階建て延べ6654平方㍍の規模で、今年1月に工事がスタート。設計・監理を大旗連合建築設計、施工をフジタ・栗本JVが担当し、工期は14年1月までとなっている。

見学会では、フジタの新免滋朗作業所長をはじめ、宿野部友梨さんらが学生たちを案内してくれた。同社は、ダイバーシティー戦略の一環として、社内に女性総合職の社員で構成する「F―net」を組織している。現場で働く入社2年目の宿野部さんもメンバーの一人だ。会社で取り組んでいるダイバーシティーの状況などを説明し、将来を考える良い機会にしてほしいと、F―netリーダーの大井美樹さん（東京支店）らも見学会に駆け付けた。学生たちにとっては、建築現場でどのようにしてものづくりが進められているかを見られるだけでなく、実際に現場で活躍する女性技術者らの話を聞ける貴重な機会になった。

大学で建築や都市デザインなどを学んでいる学生とはいえ、自分たちが建設業に進んでどのような職種の仕事を手掛けていけるのか、また技術者がどう働いているのかをイメージするのは難しい。このためか、現場を見学した後に3人から出された質問は、建築工事の内容に加え、技術者の役割や仕事にどのような楽しさを感じているのかなど多岐にわたった。

「仕事の楽しさは？」

中でも女性技術者の仕事には関心が高く、「女性だから困ることはありますか」「建築業界に向いているのはどのような女性ですか」「結婚して仕事と家庭を両立させるのは難しいですか」などの質問が相次いだ。

「向いてる女性は？」

宿野部さんは「私は入社2年目でまだ勉強中ですが、どのような人が向いているというよりはやる気があれば大丈夫だと考えています」とコメント。建築技術者として入社15年のキャリアを持つ船本さんは「やってみて初めてこういうものだったのかと気付くのが仕事ではないでしょうか。（男女に関係なく）好きになれるかなれないかで、続けられるかどうかが決まってくるのだと思います」と答えた。

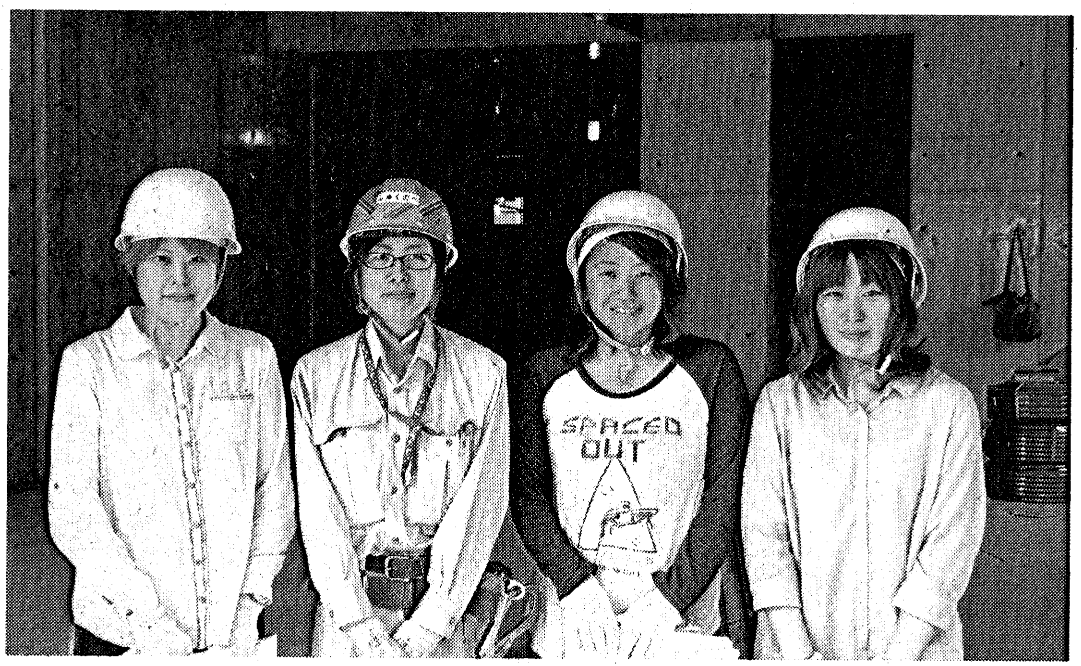
「仕事と家庭の両立は…」

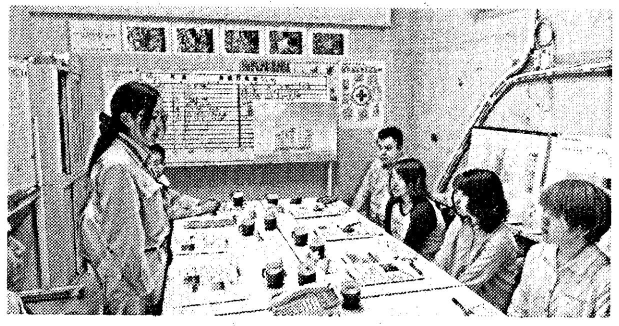
仕事と家庭の両立については、宿野部さんが「会社には仕事、家庭ともに充実されている方がいます。建設業でなくても、（育児休業などの）制度をうまく使うなどしていけば両立は可能だと思います」と指摘。「女性だから困ったことは」との問いに対しては「現場に置いてある重いものを運びたくてもできないといったようなことはありますが、そんな時でも誰かに声を掛ければ手伝ってくれます。職人さんたちは男女平等に接してくれますし、今までに困ったことはありません」と語った。

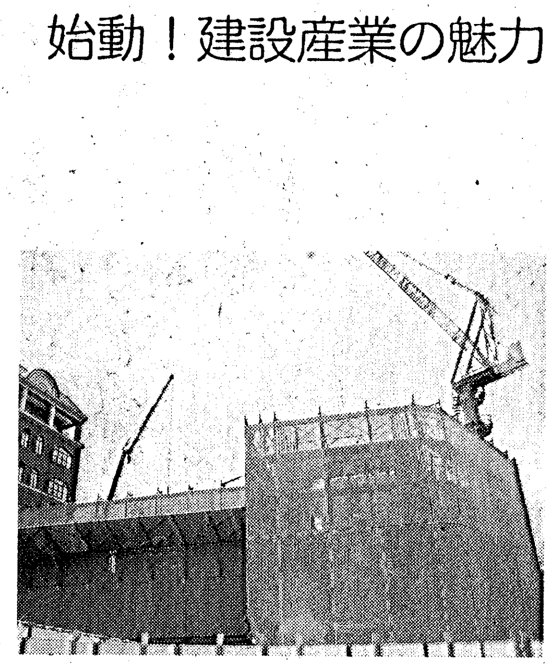
学生の一人が「働いていて楽しいことは何ですか」と質問すると、「私はこの現場に杭工事の終わりのころに配属されたので、最初はほとんど地面しかない状況でした。それがだんだんと工事が進み、形になっていくのを見るのはとても楽しい。竣工後も自分が建設に携わった建物を見るのが今から楽しみです」と宿野部さん。さらに「大学の勉強で役立ったことは何ですか」と聞かれ、「施工の仕事に就いているので、施工関連の勉強は役に立っています。現場とは少し違うところもありますが、大学の勉強は基礎づくりとしてすべてが大事ですよ」と技術者の先輩としてアドバイスした。

新免所長は工事概要のほか、建築工事でのゼネコンや技術者の役割について「われわれの仕事は設計通りに建物を建てることですが、例えばどのような仕上げ材が良いかを設計者と相談し、施主に提案するなどといったこともしています」と説明。加えて「工程を立て、資材を注文し、職人さんに動いてもらう。これを繰り返しながら、お客さまに満足していただけるものをつくるのが役割です」と話した。

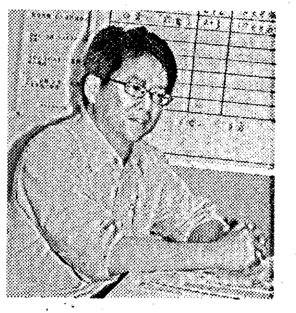
学生たちが気になる女性技術者のキャリアステップについては、大井さんが女性技術者が活躍している職種などを紹介し、「女性の平均勤続年数は男性と比べて短いのですが、（本人が）本気で続けたいと思えば可能性は開けます。女性が長く務め、現場で事務長や所長になっていく事例が増えることでも道は開けていくと思います」と語った。


（左から）佐藤さん、宿野部さん、高畠さん、事崎さん


事務所内で自己紹介する宿野部さん㊧。見学後は学生3人からのさまざまな質問に答えてくれた


現場の外観。来年1月の竣工に向けて工事が進む

新免所長から女子学生にエール



私が入社したころと違い、今では建設業に女性が入ってくるのは珍しくありません。女性の職人さんも増えています。男性、女性を問わず、ものづくりが好きでやる気がある人であれば続けていける仕事です。好きであればどういう道でも頑張ってください。

新免所長㊧から工事について説明を受ける

♣見学を終えて……

高畠沙季さん（建築工学科2年）

フジタでは女性にとって働きやすい環境になるように取り組まれており、さらにF―netという女性のネットワークでさまざまな活動が行われていました。例として女性にとって産休、育休が確保されていることは、企業を選択する上で大きな決め手になります。宿野部さんは建築生産という好きなことを職業にされているとても魅力的で理想の女性でした。

事崎悠佳さん（環境デザイン学科2年）

講義で学ぶことよりも現場で説明してもらった方がとても理解しやすく、より興味を持つことができました。フジタの方々にはどんな質問にも丁寧に答えていただき、また会社内で女性社員が自己能力を発揮できるF―netという活動をしており、女性も安心して働ける職場だということが分かりました。今回の見学で仕事により興味を持つことができました。

佐藤志帆さん（都市デザイン工学科1年）

初めて建物の造り方を見て、普段生活している建物はこうやって造られているのだなと感じました。いろいろなプロが協力し合って一つの作品が造られていくことに興味がわきました。現場の女性技術者からは、さまざまな話を聞かせていただきました。普段の学生生活と違う貴重な体験ができ、今後に役立てたいと思います。

可塑状グラウト協会
会長 朝倉俊弘
東京都新宿区大久保一―一五―九―五〇二
電話〇三（三二〇八）八五〇七
FAX〇三（三二〇八）八五〇九

日本建設機械商事株式会社
代表取締役会長 瀬古一郎
代表取締役社長 大保義秋
本社 東京都新宿区本塩町二三番地
電話〇三（三二二六）三五七一
東京事業部 東京都新宿区本塩町二三番地
電話〇三（三二二六）三六五一
幸手テクニカルセンター 幸手市大字木立字流作一八三〇―一八（幸手ひばりヶ丘工業団地内）
電話〇四八〇（四八）二八一〇

一般社団法人 ウォーターフロント協会
会長 川島毅
東京都港区芝浦三―一―一九（武藤ビル3F）
電話〇三（三四五三）四一九一

日本港湾空港建設協会連合会
会長 川嶋康宏
東京都港区新橋五―二七―三（新橋五光ビル）
電話〇三（三四三二）二六七一

一般社団法人 全日本漁港建設協会
会長 長野章
東京都中央区八丁堀三―二五―一〇（JR八丁堀ビル3F）
電話〇三（六六六一）一一五五

一般社団法人 日本アンカー協会
会長 中原巖
東京都千代田区三崎町二―九―一二（弥栄ビル）
電話〇三（五二二四）一一六八
FAX〇三（五二二四）一一六九

PC技術の未来を創造する―
SEE協会
会長 石崎浩
事務局 東京都新宿区西新宿六―五―一（新宿アイランドタワー）㈱エスイー内
電話〇三（三三四〇）五五二九

一般社団法人 日本ウェルポイント協会
会長 伊東芳夫
関東支部長 中村和彦
〒一六〇-〇〇〇三
東京都新宿区本塩町二三番地（第二田中ビル）
電話〇三（三三二六）六二二一
FAX〇三（三三二六）六三三〇

場所打ちコンクリート杭（地中壁杭を含む）施工管理者「基礎施工士」検定試験・登録基礎工基幹技能者講習会実施団体
一般社団法人 日本基礎建設協会
会長 陣内孝雄
副会長 平見殖
副会長 米田和久
東京都中央区八丁堀四―一四―七（ウインド八丁堀ビル七〇五）
〒一〇四-〇〇三二 電話〇三（三五五一）七〇一八

日本SPR工法協会
会長 前田正博
東京都千代田区内神田二―一〇―一二（内神田すいすいビル四階）
電話〇三（五二〇九）〇一三〇
FAX〇三（五二〇九）〇一三一

光硬化工法協会
会長 大岡伸吉
東京都新宿区四谷二―一〇―三（TMSビル）
電話〇三（五三六七）五一七三
FAX〇三（三三五五）五七八六

速い・安い・ひび割れ防止のざぶとん裏込め工法
斜面受圧板協会
会長 阿曽伸悦
東京都新宿区四谷二―一〇―三
電話〇三（五三六三）五二四一

柔構造物工法研究会
〒一六〇-〇〇〇四
東京都新宿区四谷二―一〇―三（TMSビル）
電話〇三（三三五五）四八三七

消防施設工事協会
会長 橋爪毅
東京都千代田区九段南三―二―二（森ビル3F）
電話〇三（三二八八）〇三五二

東京建設躯体工業協同組合
理事長 青木繁夫
東京都板橋区熊野町三四―七
電話〇三（三九七二）七二二一

東京建設工業協同組合
理事長 星幸三
副理事長 川元義之
専務理事 五十嵐均
東京都港区新橋六―二〇―一（新橋IKビル）
電話〇三（六四三五）六二〇八

一般社団法人 東京都設備設計事務所協会
会長 小林貞夫
東京都千代田区飯田橋一―五―六（協和ビル3階）
電話〇三（五二七六）一四〇〇

関東空調工業会
会長 村山哲也
東京都豊島区巣鴨三―三―一
電話〇三（五五六七）〇〇七一

株式会社 建設産業振興センター
代表取締役社長 大八木勝彦
東京都港区虎ノ門四―一―一二（虎ノ門四丁目MTビル二号館三階）
電話〇三（五四七三）四五九〇
FAX〇三（五四七三）〇七八四

建設連合
中央執行委員長 星野康幸
東京都港区芝二―二〇―一二（友愛会館16階）
電話〇三（三四五四）〇九五一
FAX〇三（三四五三）〇五八二